

6月の県内景況は、低調気味。 停滞感が依然として強い。

情報連絡員による平成26年6月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は23.3%（前月比+3.3）となっており、「横這い」は30.0%（同-8.3）、「低調」とするところが46.7%（同+5.0）、業界全体の「景況感DI」は-23.3（同-1.6）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」の項目において前月と比較して減少しています。

2. 業種別の「業界の景況」

- ◇前年同月と比較して、食料品製造業、木材木製品製造業、小売業、商店街は「大雨」または「雨」、繊維製品製造業、その他の製造業、卸売業は「薄曇り」または「曇り」となっています。
- ◇来月の見通しは、やや悪化、悪化の見込みは、20.0%（前月比-1.7）と減少しております。好転、やや好転の見込みとの回答が21.6%（前月比+8.3）と増加しております（好転の回答2件、やや好転の回答11件）（製造業5、非製造業8）。また、変わらないが、58.3%（前月比-6.7）と増加しております。

平成26年6月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	-71.43	-71.43	0.00	42.86	-57.14	-85.71	0.00	-28.57	-14.29	14.29	-71.43	-85.71
繊維製品製造	66.67	66.67	0.00	0.00	33.33	33.33	33.33	33.33	0.00	0.00	33.33	0.00
木材木製品製造	-25.00	-75.00	-50.00	-25.00	-75.00	-75.00	-50.00	-50.00	0.00	25.00	-50.00	-50.00
鉄工機械製造	20.00	20.00	0.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	40.00
その他の製造	-14.29	-14.29	0.00	28.57	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	0.00
卸売業	-50.00	-25.00	0.00	0.00	-75.00	-25.00	-25.00	-25.00	-25.00	-50.00	-50.00	-25.00
小売業	-22.22	-33.33	11.11	0.00	0.00	-22.22	-11.11	0.00	-11.11	-11.11	-55.56	-55.56
商店街	-66.67	-83.33	-33.33	0.00	-50.00	-50.00	-50.00	-50.00	0.00	0.00	-33.33	-50.00
サービス業	14.29	0.00	28.57	42.86	14.29	0.00	0.00	0.00	14.29	42.86	28.57	14.29
建設業	-20.00	60.00	0.00	40.00	0.00	40.00	0.00	20.00	0.00	0.00	0.00	20.00
運輸業	0.00	0.00	0.00	0.00	-33.33	-100.00	-66.67	-100.00	0.00	-100.00	0.00	-66.67

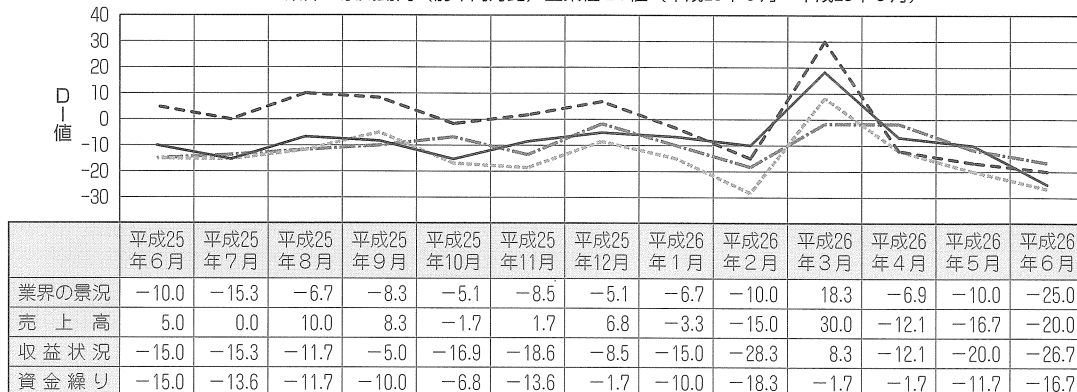
天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値（D・I値）をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

D・I値基準値

- ☀ 快晴 30以上
- ☀ はれ 10～30未満
- ☁ うすぐもり -10～10未満
- ☁ くもり -30～-10未満
- ☔ 雨 -50～-30未満
- ☔ 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（平成25年6月～平成26年6月）



食料品製造業

<漬物>

会社により、状況はバラバラである。全体的には厳しい会社が多いようである。電気料金、運賃、添加物等々がどんどん値上げになり、包材、ガソリン等も値上げが続き、収益がますます悪化してきている。

<味噌醤油>

国産大豆は相変わらずの高騰、外国産大豆は豊作の影響でわずかに下がったが、依然として高い水準を維持している。また、甘味料の一部が極端な値上げ（原料不足等）となってきた。いずれにおいても、製造コストがかかり組合員の経営状況は苦しい。

<酒造>

消費税増税後良くない。好調だった純米酒も前年割れとなり、厳しい夏になりそうだ。（純米前年比92%、全体92%）

<食品団地>

例年より梅雨入りが早かったが、暑い日が続いたため商品のラインアップと生産稼働が難しい月だった。さらに、原油の高騰が続き、収益に大きな影響を与えている。

縫製品・同製品製造業

<ニット>

秋冬物の生産が最盛期に入ってきており、残業をしておこなっている状況である。

<縫製品>

秋冬物の受注は当初予想したより、順調に推移している。夏物から秋冬物への移行もスムーズにいった。このまま秋冬物が順調に進めば、多少好転のきざしが見えてくるかもしれない。

木材・木製品製造業

<製材業>

梅雨の本格時期となり、本来ならば品質の劣化で丸太相場が下落する月であるが、今年は例外で、スギ丸太価格は高値横ばいで推移している。このため出材は順調であるが、製材品の荷動きは依然として鈍く、製材工場の丸太手当は当用買いにとどまり、需要のギャップが生じてきている。

<外材輸入>

全国の5月の新設住宅着工数は前年比15%減であり、3カ月連続で減少した。製材品の荷動きは前月に引き続き低調であり停滞感が強い。

紙・紙加工品製造業

<紙器・段ボール>

大手段ボールメーカーは原紙の生産高は量としてはここ3、4年は増えてきている。4年連続で130億㎡を超えているが消費税の影響でどうなるかは今後の問題で、将来的には人口が減少してくるので段ボール箱の需要も減ってくると予想され、今まで安定した段ボールメーカーも段ボール業者も大きく様変わりするであろうと予測される。

印刷業

<印刷>

消費税増税前の駆け込み需要の反動が4～5月に見

られたが、6月以降は通常ベースに戻った感じが見られる。

窯業・土石製品製造業

<陶磁器>

例年6、7月は普通の売上である。

<碎石>

（県北地区）

1. 当月売上高の前月比 約8%の減
2. 当月売上高の昨年同月比 約7%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約2%の増
4. 原因・状況 主に除染工事関連と生コン工場・東北中央自動車道「相馬福島道路」一部工事区間へ納入している。

<生コン>

平成26年6月の組合員生コン出荷数量は、165,618㎡と対前年同月比1.4%の増。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比36.2%の増、官公需が24.0%の減であった。

■民需の動向

対前年同月比 36.2%の増

①対前年同月比増加地区

<県北地区> 25.8%の増

工場新・増築工事、物流倉庫増築工事等

<白河地区> 22.0%の増

新白河信金ビル建築工事、ディケアハウス、運送倉庫建設工事等

<いわき地区> 4.6%の増

県漁連冷凍冷蔵施設建設工事、いわきメガソーラー発電所建設工事等

<相双地区> 170.1%の増

原発保安対策工事、広野火災消波ブロック工事、常磐道浪江地区舗装工事等

<会津地区> 103.2%の増

会津中央病院第2期増築工事、ウィンドファーム建設工事等

②対前年同月比減少地区

<県中地区> 17.2%の減

物流センター、マンション建設工事等

■官公需の動向

対前年同月比 24.0%の減

①対前年同月比増加地区

<県北地区> 0.8%の増

国道115号線馬館山トンネル工事、国見町庁舎建設工事等

②対前年同月比減少地区

<県中地区> 24.7%の減

郡山市中央公民館改築工事、環境創造センターA棟新築工事等

<白河地区> 14.8%の減

白河中央中学校建設工事、白河総合運動公園整備工事等

<いわき地区> 6.9%の減

小名浜港追悼地区岸壁復旧、復興公営住宅建築工事等

<相双地区> 38.5%の減

海岸保全施設整備工事、楢葉等中学校建築工事等

<会津地区> 39.9%の減

治山工事、復興公営住宅工事等

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、売上高、収益状況とも前月比で横ばい傾向で、前年同月比でみてもあまり変動はない。売上高・収益状況は、今後も引き続き、厳しい状況で推移していく模様である。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)

6月は比較的暑い日が続いた影響もあり、季節商品の売上が好調であった。全体的に消費増税の影響は、当初想定していたよりは小さく、3カ月経過したところで落ち着きを見せてきている。ただし、今後回復軌道にのるかどうかは業種によって見方がわかれている。

<再生資源>

6月早々に梅雨入りしたが、例年の梅雨と違い、猛暑と豪雨が繰り返すような異常気象が続いた。6月の再生資源の発生は例年落ち込みが見られるが、今年の発生量はさらに減少傾向である。今後、中元・盆商戦と流通が活発化し、発生量も上向くことを期待している。

小売業

<共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

6月は昨年を若干下回る実績となったが、ほぼ昨年並みの実績であった。前月比で1割減の実績。6月の実績は年間で2月の次に売上が落ちる時期なので、次月に期待したいところである。

(県中地区のNショッピングセンター)

消費税アップ後の影響が始めた感がある。収益面ではプラスになるも、今後の売上アップ策が求められる。

<石油>

中東情勢の悪化により、原油価格が上昇、この影響により元売仕切も大幅に上昇した。このため、店頭小売価格も毎週上昇しているものの、仕切上昇分の転嫁には至らず、利益率が圧縮されている。

<青果>

梅雨に入り、局地的な豪雨やヒョウの影響もあり、品薄の状況、価格の上昇につながった。梅の取り扱いも始まったが年々消費が減っている。梅をつける消費者も減ったようだ。先月も記入したが、やはり季節物にはそれほど期待できなくなっている。7月には家庭菜園での野菜も多くでき始めるので、市場に入る野菜も単価が落ちるものと見る。冷夏から一転、平年並みの気温とのことで、果物の販売にも期待したい。

<電機>

エアコンが昨年より落ちている。(長期予報があまり暑くならない。)猛暑に期待しているが、あまり期待できない。

商店街

<福島市>

全体的に低調。通行量は減少。週末にはある程度人

が出ていたが、平日の夜は、静かな街だった。例年この時期はこのような感じだが、今年は特に静かだった。

<郡山市>

6月は前月同様減少気味である。駐車台数は5%減少で、商店街全体の客層も同じくらい減っているように思われる。増税・値上げの影響がここに来て影響しているかのようだ。8月には郡山の大イベント采女祭りがある。今年は第50回で、いつも以上に大きくなりそうだ。ここで景気回復の起爆剤になってくれればと願いたい。

<南相馬市>

商店街活性化事業の採択を受け、今月15日より「元氣発信栄町まつり」を実施する。半年間のロングランの中で、イベントと情報発信をおりまぜながら行う。期間中は、にぎわいもいろいろな場面でつくられると思う。

<会津若松市>

消費税8%がここに来て影響がでてきている。高額な商品が売なくなっているように感じる。来店数も減っている。

<いわき市>

6月前半、本格的な梅雨入りのような天気が続き、売上に影響がでたようだ。しかしその後、天気が良くなっても消費に明るさを感じない。増税の影響はまだ続いているようだ。ただ、各商店街との情報交換では工夫次第で売上を確保している店舗もみられる。商店街への動員がかけられなかった6月は、個店の努力の差がはっきりと出ている。

サービス業

<旅館業>

(いわき湯本温泉)

6月は年間の中では観光客の入込みが少ない月である。今「超高速！参勤交代」の映画によって「いわき湯本」のアピールにつながり、観光客の入込みが多くなってくれればと願っている。7月は夏休みに入る(学校)ので、多少、観光客の入込みは期待できるのではないかと思う。

(土湯温泉)

ふくしまプレDC効果もあり、各温泉地とも活性化された。収益性も若干ではあるが、良化傾向にある。

<理容業>

暑い日が続き忙しくなってきた。夏向きのメニューを早め提案している店が多く、出足は好調のようだ。クールビズへアパーが少しずつ浸透してきているので季節感のあるアパーを提案し活気づけたい。全体的に少し景気が上向きになりつつあるので積極的に商売に取り組むよう組合あげて頑張ろうと思っている。

<廃棄物収集運搬業>

震災関連事業も一段落したことから売上は前年度より減少してきた。新規の事業の先行きも若干見え始めていることから期待感はある。

建設業

<建設業>

(県一円)

県土木部全体の平成23年度被災・災害復旧事業の進捗状況(平成26年6月1日現在)

・東日本大震災 着手率 84% 完了率 64%

- ・新潟・福島豪雨 着手率 100% 完了率 95%
- ・台風15号 着手率 98% 完了率 96%

＊率の算定は、事業実施箇所数に対し、着手した箇所数・完了した箇所数の割合の率を算出（帰還困難区域等の査定が未実施の箇所は含まれていない。）震災以降3年が経過し、復旧・復興事業及び除染業務等の事業の進捗に伴い、会津、中、浜の3方部の業況に格差が生じつつある。

（県南地区）

土木工事が減少しているが、建築工事は増加している。除染業務を中心に売上を伸ばしているが、フレコンバックが不足気味で、価格が上昇する見込みである。

<管工事>

前月比で給水設備申請が増加、排水設備申請は減少した。前年同月累計対比では、給水・排水設備申請とも増加している。

<専門工事>

今年は例年になく梅雨らしい天候になった、といえは聞こえはいいが、実際のところ、天候不順であると

いうことは変わりがないらしい。集中豪雨のような雨の降り方は今までの日本のそれとは大きく異なっているように感じられる。そういった意味では、季節感というものの判断も変わっていく必要があるのかもしれない。若い世代の確保については、個々に段取りするのは難しく、一方で一定以上の規模の企業に独占・淘汰されてしまう状況が大きくなってきているように思われる。相互協力を含め、一歩踏み込んだ対応が要求されていると感じる。

運輸業

<トラック運送>

（県北地区）

さらなる燃料費の上昇により収益は減少傾向にある。

<ハイヤータクシー>

消費税増税分のプラスであり、純粋な売上増ではない。燃料代の高騰による負担は増大。

県政トピックス

2014. 8

女性・若者向け起業塾・相談会を開催します

福島県では、女性や若者の起業を支援する目的で、有限責任監査法人トーマツに委託して、以下のとおり起業塾・相談会を開催します。

世界を舞台に活躍する先輩起業家や経験豊富な公認会計士が、アイデア・スキルの両面から起業希望者をサポートいたします。また、県で本年度募集する創業補助金に向けて、起業希望者の事業計画のブラッシュアップも行います。

会場は、株式会社クリフが今年度県の補助を受けて設置する「子育て世代向けコワーキングスペース（仮称）」で、希望者の託児も受け付けます。（要予約）

今年度第1回目は福島市で開催しますが、今後県内各地で開催していきます。最新情報は福島県産業創出課のHPをご覧ください。

第1回 実践起業塾

- 参加資格 福島県内でこれから起業される方（すでに起業されている方の受講も可能です）
- 日 時 1日目 8月24日(日) 10:00～17:30
2日目 8月31日(日) 10:00～17:30
- 場 所 コワーキングスペース（株式会社クリフ社内
福島市新町6-35 コープマーケット新町2階）
- 参加費 無料（20名程度募集いたします）
- 内 容 1日目 開校式・パネルディスカッション（株式会社和える代表取締役矢島里香氏や先輩起業家をパネラーとしてお迎えします）など
2日目 ビジネスモデルキャンパスを利用したビジネスモデルのブラッシュアップ・事業計画策定のポイントなど

第1回 起業相談会

- 参加資格 福島県内でこれから起業される方（すでに起業されている方の受講も可能です）
- 日 時 9月3日 14:00～17:00
- 場 所 同上コワーキングスペース
- 参加費 無料（10名程度募集いたします）

申し込み方法 詳しくは web で
検索ワード：福島県 産業創出課
URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32021b/handsome11.html>
お問い合わせ 福島県 商工労働部 産業創出課 024-521-7283

無料駐車場はございません。お車でいらっしゃる場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

コープふくしま2階
コワーキングスペース
無料で託児施設をご利用いただけます！！

